

いしかわ気候変動適応センター通信 第20号

デジタルマップでクーリングシェルターをご確認ください！

5月18日に、大分県日田市で35.3℃を観測し、今年初の猛暑日を記録するなど、全国的に早い時期から厳しい暑さとなっているほか、気象庁の3か月予報(6～8月)では、北陸地方の気温は平年に比べ高い見込みとされています。

こうした暑さへの備えとして、県内の各市町では、危険な暑さによる重大な健康被害を防ぐため、予防行動の実践を呼びかける「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合には、「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」を開放しています。

県では、県内のクーリングシェルターを一元的に確認できるデジタルマップを作成しました。各市町では、暑さをしのぐため、熱中症特別警戒アラートの発表の有無にかかわらずご利用いただける施設も増やしていますので、デジタルマップで最寄りのクーリングシェルターを確認し、熱中症予防にご活用ください。

(参考) クーリングシェルターに関する情報 (石川県)

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/cooling-shelter.html>



熱中症の予防には、「水分・塩分の補給」と「暑さを避けること」が大切です。

これから夏本番を迎えますが、エアコンを適切に活用するなど、熱中症予防を心がけましょう。

(参考) 熱中症に関する情報 (石川県)

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenkou/necchuushou/necchuushou.html>



《最高気温 40℃以上の日が「酷暑日」に決定》

日本国内では、近年、40℃を超える気温が毎年のように観測されていることから、気象庁は、最高気温が 40℃以上の日を「酷暑日」と名付け、熱中症予防の実践など顕著な高温への警戒を呼びかけています。

大雨に備えましょう！

地球温暖化の影響により大雨の発生頻度が増加し、異常気象による豪雨災害が全国各地で発生しています。梅雨前線や台風による大雨に備え、気象庁と国土交通省は防災気象情報の見直しを行いました。この見直しにより、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の4種類について、5段階の警戒レベルに整理され、避難の判断がより分かりやすくなっています。警戒レベルを確認し、早めの行動を心がけましょう。

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	市町の対応	とるべき行動
5		特別警戒			緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
4		危険警戒			避難指示	危険な場所から全員避難
3		警戒			高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
2		注意報				自らの避難行動を確認
1		早期注意情報				災害への心構えを高める

※気象庁ホームページ等を参考に作成

＜石川県気候変動適応センター＞

事務局：石川県生活環境部カーボンニュートラル推進課

電話：076-225-1469 FAX：076-225-1479 メール：cn2@pref.ishikawa.lg.jp

HP：https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/tekiou/index.html